■ 設計・施工時の注意

- 本製品がカバーできる既存幅木は、木製幅木、シート貼り幅木です。それ以外の材質の幅木には使用できません。
- 本製品がカバーできる既存幅木サイズは、高さ30~100mm、厚み5~10mmです。
- 既存幅木がシート貼りの場合は、まず、シートに切り込みを入れて基材とシートが密着しているか確かめてください。 次に、シートにはがれやよじれ(しわ)があったり、塗装はがれがある場合はその部分を除去してください。

また、既存幅木に水濡れ、汚れ、油分、ほこり等がある場合は除去してください。除去しないと接着不良の原因となります。

- 接着剤やコーキング材は、必ず指定品(弊社カタログ掲載品)をご使用ください。
- カッターを使用する際は、刃が通る位置に手を置かないでください。カッターが滑り手にけがをするおそれがあります。
- カット後の端面(製品の継ぎ目など)は、サンドペーパー等でバリを取ってください。端面で手にけがをするおそれがあります。
- ▌○ 製品本体と役物(入隅・出隅)の間、本体と床面および壁面の間、などに隙間ができる場合は、コーキング処理が必要です。
 - 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。

<本体> (上カバー) <入隅> <出隅> (上カバー) (上カバー) (下カバー) (下カバー) (下カバー)

■ 使用部材 ※右上図参照

- 本体、入隅、出隅(※いずれも下カバー・上カバーあり)
- 両面テープ(巾5mm)、接着剤、コーキング材

■必要工具·部材 ※現地調達

【工具】 巻尺、のこぎり、カッター、サンドペーパー(番手#180)、シーリングガン(接着剤塗布用) 【部材】 マスキングテープ

■ 施工手順

1. 既存幅木の表面を確認する

○ シート貼り幅木の場合は、

白い粉が出るまでサンドペーパー(番手#180)で表面を荒らす。

注意 荒らさないと接着不良の原因となります。

(シート貼り以外の幅木の場合は荒らす必要はありません)

2. 本体(下カバー)のカット →両面テープ貼り →接着剤塗布 →貼り付け

- ① 幅木と同じ高さになるように、下カバーをカッターでカットする。 ※裏面の1mmピッチ溝に沿って切れ目を3~4回入れてカットする。
- ② 裏面の下部に両面テープをしっかり圧着して貼り、離けい紙をはがす。
- ③ 裏面に接着剤を塗布する。(ビード塗布径Φ4)

注意 <塗布数>

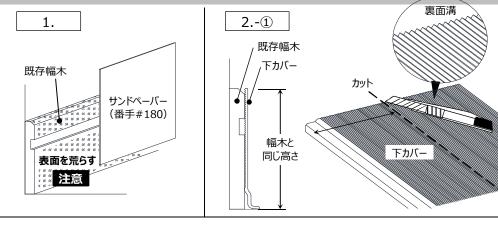
既存幅木の高さ60mm未満…2本

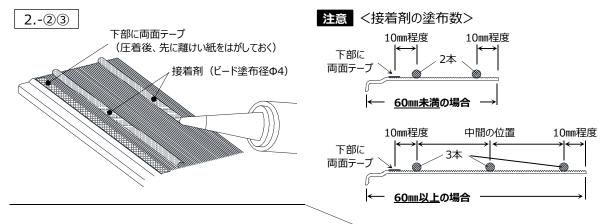
60mm以上…3本

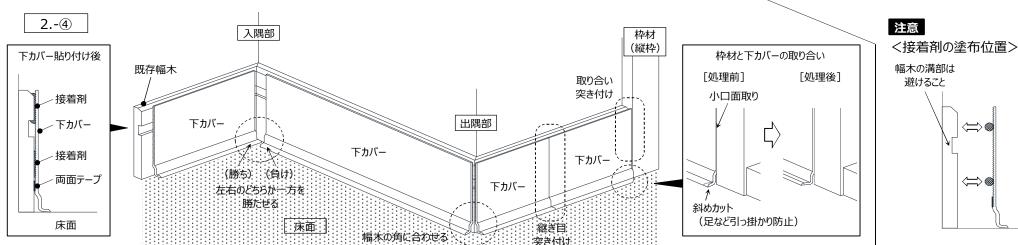
注意 <塗布位置>

幅木とカバーが接触する箇所をねらって塗布する

- ④ 床面にあてがいながら、幅木にカバーを貼り付ける。
 - ※入隅部はどちらか一方を勝たせる。出隅部は幅木の角に合わせる。
 - ※カバーどうしの継ぎ目や、枠材との取り合いは突き付ける。
 - ※枠材との取り合いは、カバー下部の先端を斜めにカットする。 小口が見える場合はサンドペーパー等で面取りする。

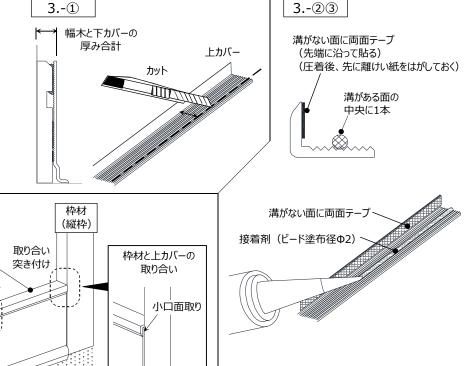


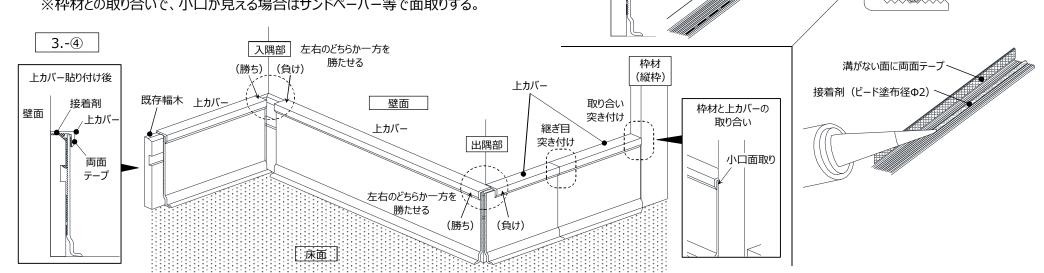


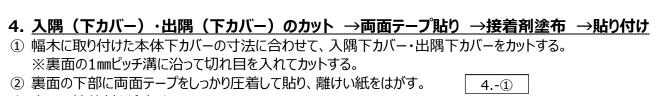


3. 本体 (上カバー) のカット →両面テープ貼り →接着剤塗布 →貼り付け

- ① 幅木と下カバーの厚み合計と同じ寸法になるように、上カバーをカットする。 ※裏面の1mmピッチ溝に沿って切れ目を3~4回入れてカットする。
- ② 裏面の溝がない面の先端に沿わせて、両面テープをしっかり圧着して貼り、離けい紙をはがす。
- ③ 裏面の溝がある面の中央に、接着剤を1本塗布する。(ビード塗布径Φ2)
- ④ 幅木の上面に接着剤を押し付けながら、下カバーに貼り付ける。
 - ※入隅部・出隅部とも、どちらか一方を勝たせる。
 - ※カバーどうしの継ぎ目や、枠材との取り合いは突き付ける。
 - ※枠材との取り合いで、小口が見える場合はサンドペーパー等で面取りする。

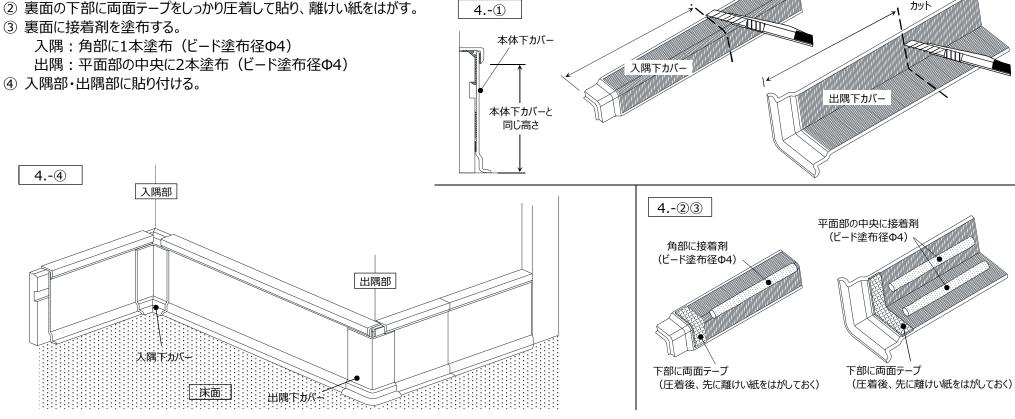






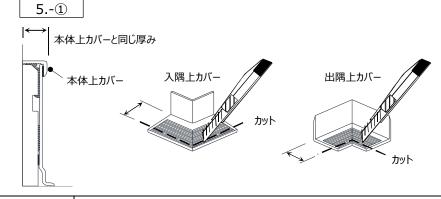
入隅:角部に1本塗布(ビード塗布径Φ4)

④ 入隅部・出隅部に貼り付ける。

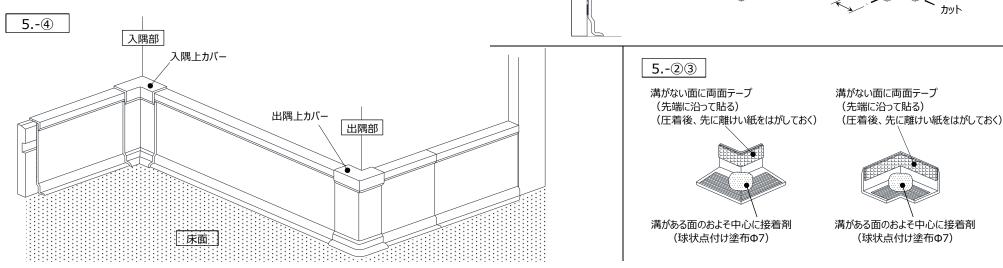


5. 入隅 (上カバー)・出隅 (上カバー) のカット →両面テープ貼り →接着剤塗布 →貼り付け

- ① 幅木に取り付けた本体上カバーの寸法に合わせて、入隅上カバー・出隅上カバーをカットする。 ※裏面の1mmピッチ溝に沿って切れ目を入れてカットする。
- ② 裏面の溝がない面の先端に沿わせて、両面テープをしっかり圧着して貼り、離けい紙をはがす。
- ③ 裏面の溝がある面のおよそ中心に接着剤を塗布する。(球状点付け塗布Φ7)
- ④ 入隅部・出隅部に貼り付ける。

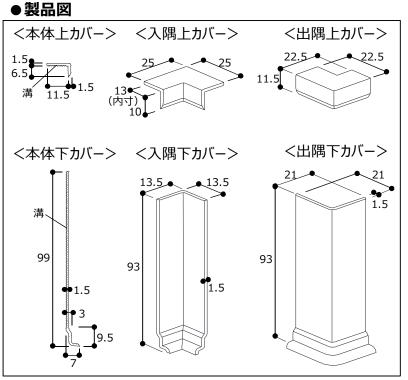


カット



6. コーキング処理

○ 本体どうしの継ぎ目、本体と役物の間、本体と枠材の取り合い部、本体と床面や壁面の間、などの隙間が目立つ場合は、コーキング処理する。



●参考納まり図

